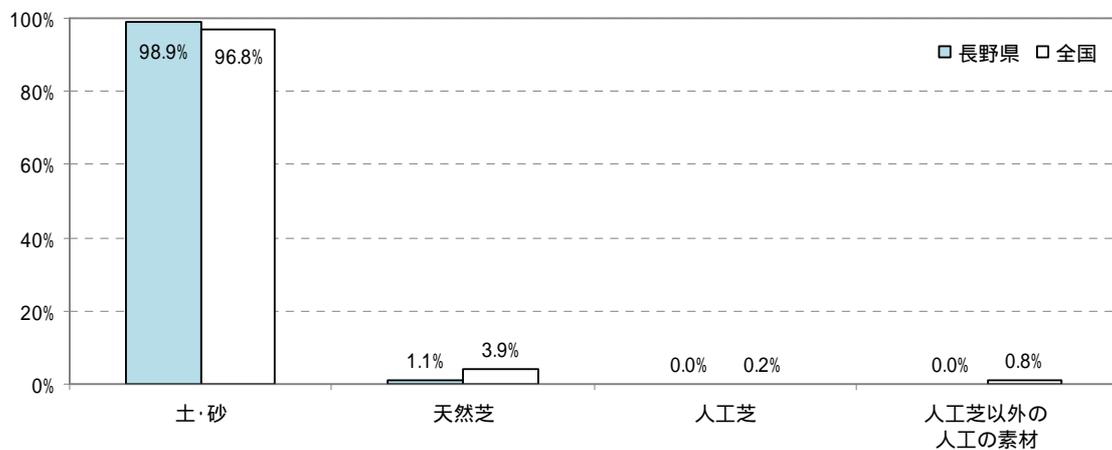


### 3 学校質問紙調査の結果

#### (1) グラウンドの状況

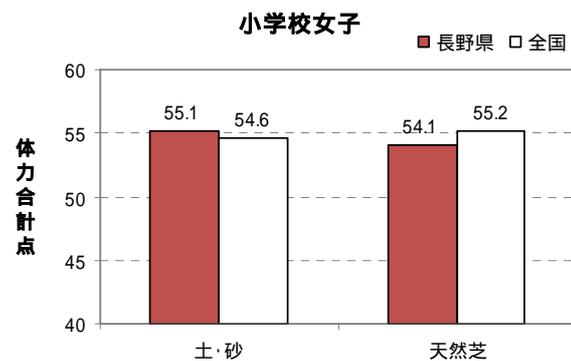
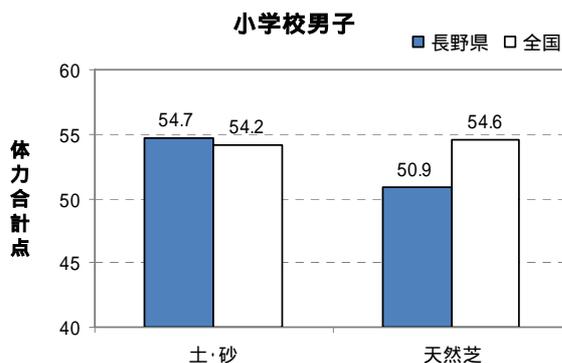
〔質問1〕 グラウンド（授業や部活動などで運動を行うスペース）はどのような材質で  
できていますか（複数回答可）

- ・ 屋外運動場の材質は、「土・砂」が99.2%で、「天然芝」と回答した学校は262校中3校のみであった。



屋外運動場の材質と体力合計点との関連

- ・ 全国では「天然芝」の学校が、「土・砂」の学校に比べて体力合計点がわずかに高い傾向がみられている。（長野県においては、「天然芝」と回答した学校数が少ないために統計的な比較はできない）

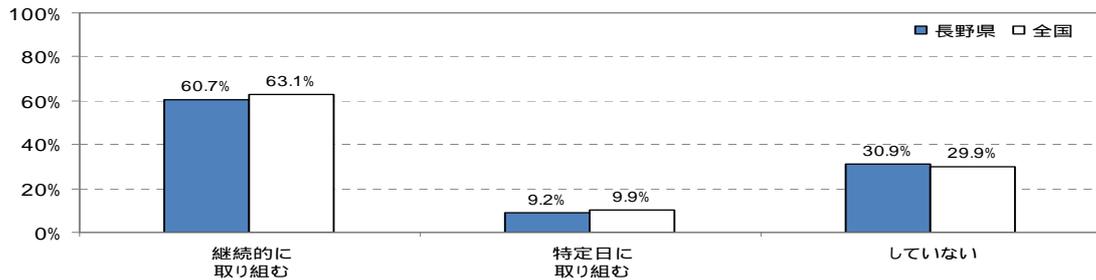


## (2) 体育の授業以外での体力向上に係る取組

### 体育授業以外での取組

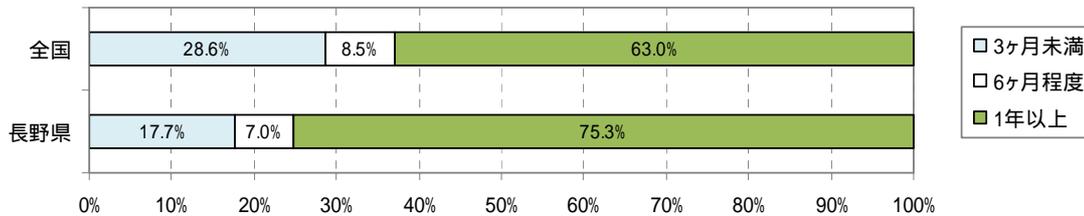
〔質問2〕 学校として、体育の授業以外に、児童の体力の向上に係る取組を実施していますか（複数回答可）

- ・ 体力向上に係る取組について、「継続的な取組」をしている学校は60.7%で、全国と比べて下回っている。



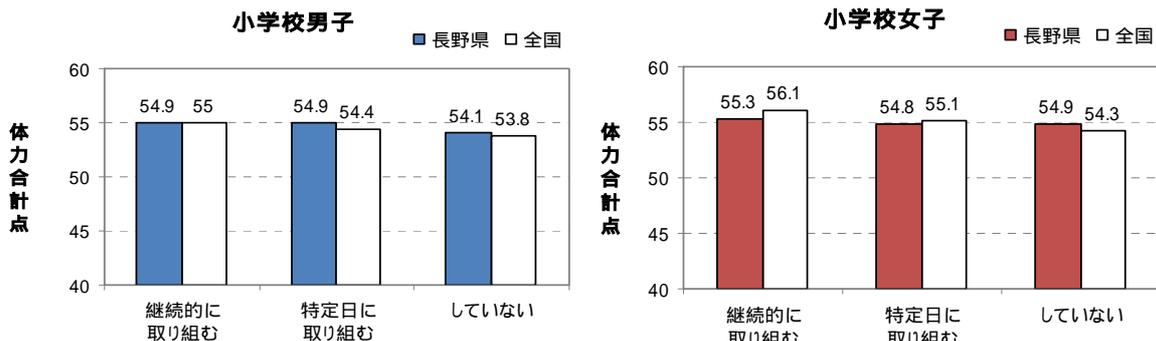
〔質問2-2〕 質問2で「継続的な取組をしている」と回答した学校は、どのくらいの期間継続して実施していますか

- ・ 体力向上の取組を継続的に実施している学校のうち、「1年以上」継続して取り組んでいる学校は75.3%で最も多く、全国と比べても上回っている。



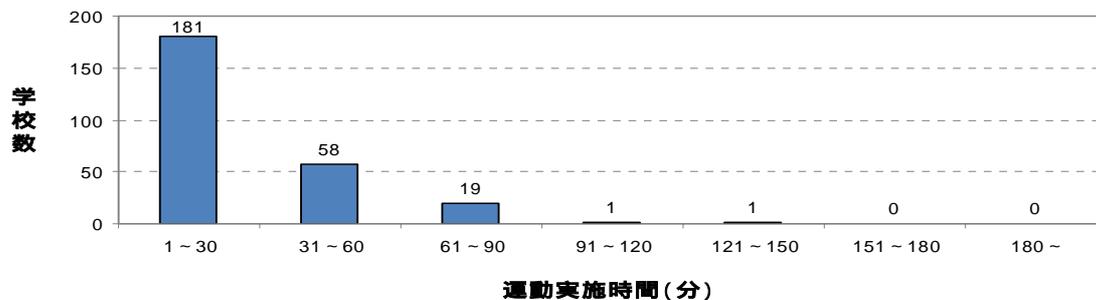
### 体育の授業以外での体力向上に係る取組状況と、学校の体力合計点との関連

- ・ 体力向上に係る取組を、「継続的に」実施している学校は、「していない」学校よりも体力合計点が、男女とも高くなっている。



〔質問3〕 放課後、下校するまでに児童が運動やスポーツ及び自由に遊ぶことのできる時間が、平均して1日どれくらいとれますか

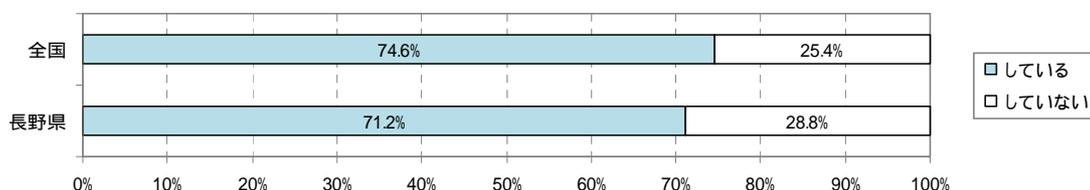
- ・ 下校するまでに遊ぶことのできる時間は、長野県の場合 30分未満が最も多く、全国と比べて下校するまでに遊ぶ時間が少ないことがわかる。



運動習慣を確立する手立て

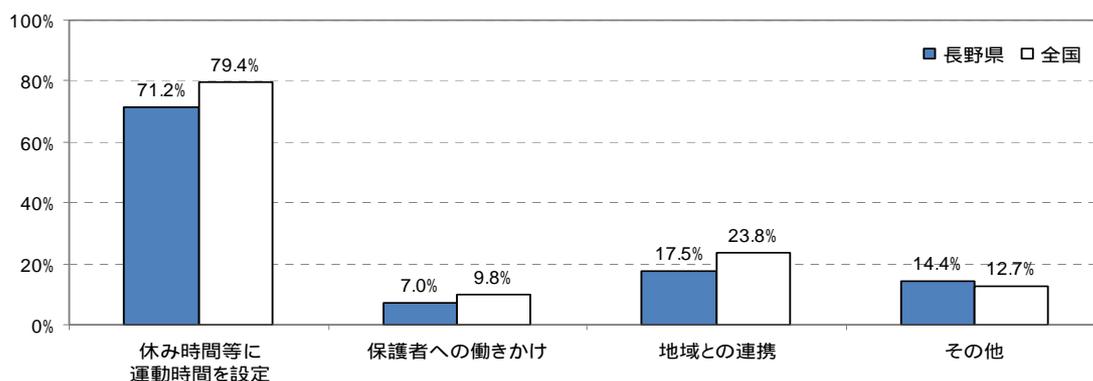
〔質問4〕 児童の運動習慣を確立するために、体育の授業以外の時間に何か手だてをしていますか

- ・ 運動習慣を確立する手立てを「している」学校は 71.2%で、全国と比べて下回っている。



〔質問4-2〕 質問4で「している」と回答した学校は、具体的にどのようなことをしていますか(複数回答可)

- ・ 運動習慣を確立するための手立てでは、「休み時間」の工夫が最も多く、次いで「地域との連携」となっている。全国と比べると、具体的な手立ての割合は低くなっている。

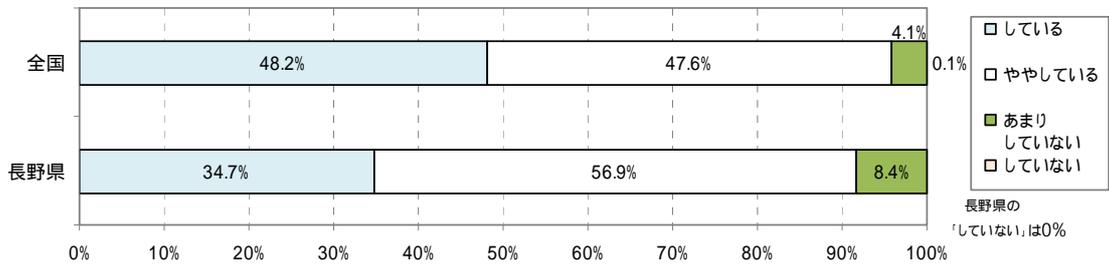


### (3) 体育の授業に関する取組

#### 運動ができるようになるための指導の重視

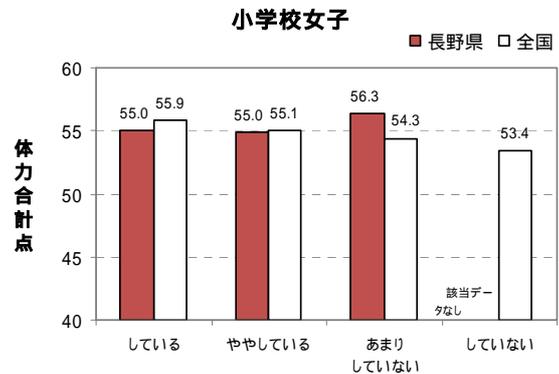
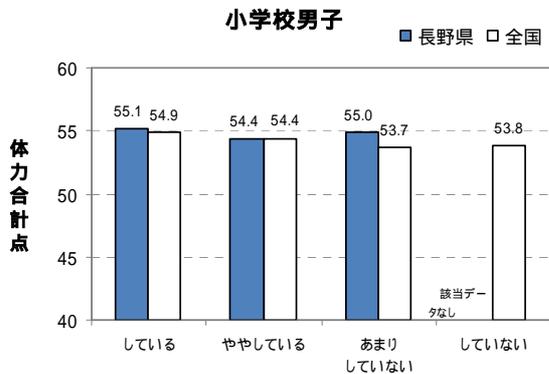
〔質問5〕 体育の授業では、体の動かし方や運動の仕方を理解させながら、運動ができるようになるための指導を重視していますか。

- ・ 体育の授業で、体の動かし方や運動の仕方を理解させながら、運動ができるようになるための指導を重視「している」+「ややしている」学校は91.6%であった。
- ・ 全国と比べ、重視「している」と回答している学校の割合は低い。



「体育の授業では、体の動かし方や運動の行い方を理解させながら、運動ができるようになるための指導を重視していますか」についての回答と学校の体力合計点の関連

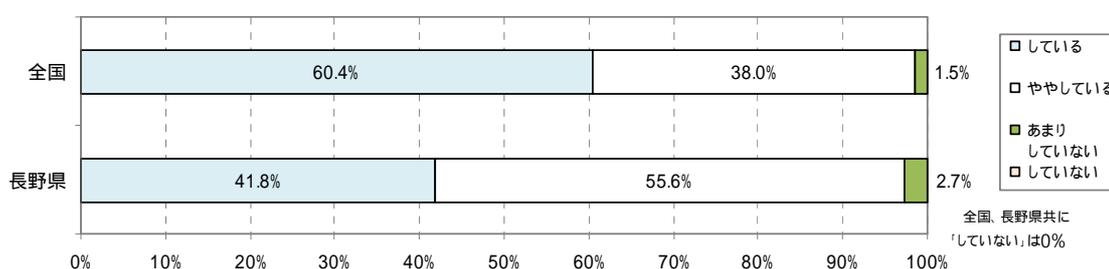
- ・ 男子では、運動ができるようになるための指導を重視「している」学校の体力合計点が一番高かったが、女子では、「あまりしていない」学校の体力合計点が一番高くなっている。
- ・ 全国では、運動ができるようになるための指導を重視している学校ほど、体力合計点が高い傾向がみられる。



## 運動量の確保の工夫

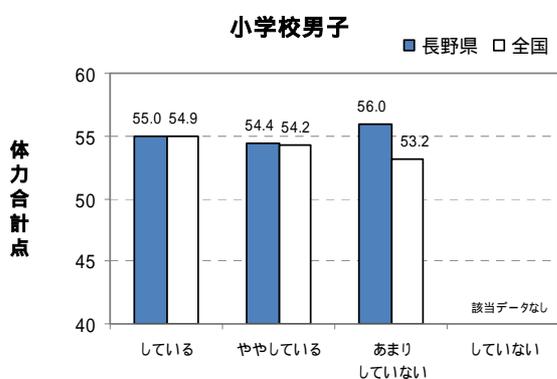
〔質問6〕 体育の授業では、児童の適切な運動量が確保できるように指導を工夫していますか。

- ・ 体育の授業で、児童の適切な運動量が確保できるように指導を工夫「している」+「ややしている」学校は、97.4%であった。
- ・ 全国と比べ、工夫「している」と回答した学校の割合は低い。



「体育の授業では、児童の適切な運動量が確保できるように指導を工夫していますか」についての回答と学校の体力合計点との関連

- ・ 男女とも、運動量確保の工夫を「あまりしていない」と回答した学校の体力合計点が一番高くなっている。
- ・ 全国では、運動量確保の工夫をしている学校ほど、体力合計点が高い傾向がみられる。



## 発育発達段階や個人差を踏まえた指導の配慮

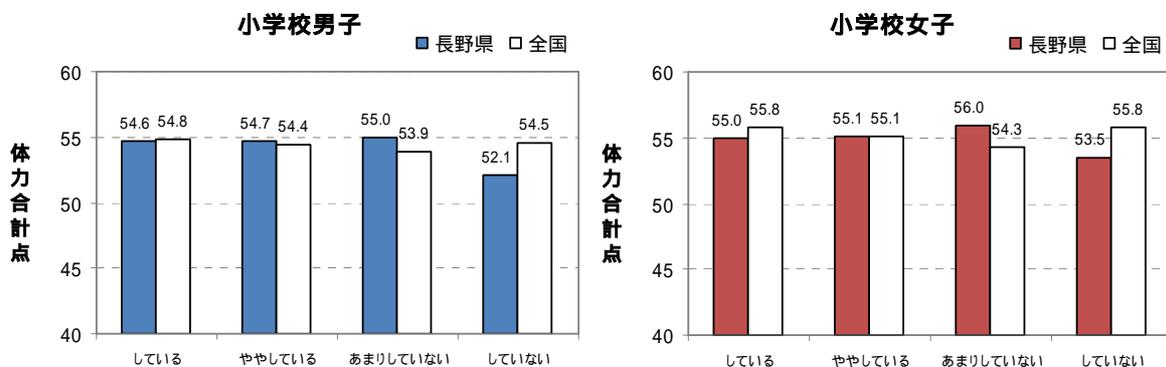
〔質問7〕 体育の授業では、発育発達や個人差を踏まえた指導に配慮していますか

- ・ 体育の授業で、発育発達や個人差を踏まえた指導に配慮「している」+「ややしている」学校は、94.3%であった。
- ・ 全国と比べ、配慮「している」と回答している学校の割合は低い。



「体育の授業では、発育発達や個人差を踏まえた指導に配慮していますか」についての回答と学校の体力合計点との関連

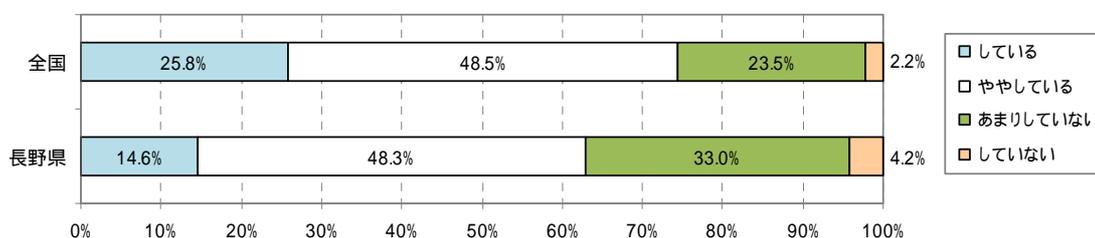
- ・ 男女とも、個人差を踏まえた指導を「している」と回答した学校は、「していない」と回答した学校に比べ、体力合計点が高い傾向がみられる。しかし、男女とも、「あまりしていない」と回答した学校の体力合計点が一番高くなっている。



## 運動の習慣化への取組

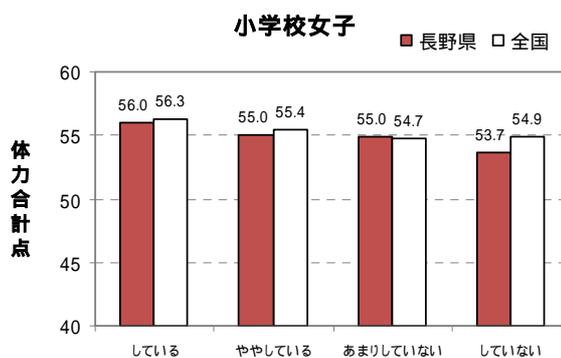
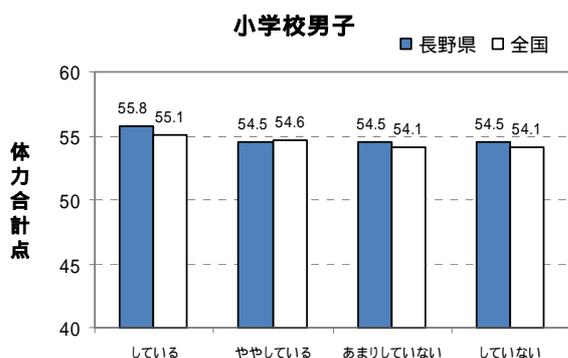
〔質問 8〕 体育の授業では、運動しない児童に運動を習慣化させるための取組をしていますか

- ・ 体育の授業で、運動しない児童に運動を習慣化させる取組を「している」+「ややしている」学校は、62.9%であった。
- ・ 全国と比べ、取組を「あまりしていない」および「していない」と回答した学校の割合は高い。



「体育の授業では、運動しない児童に運動を習慣化させるための取組をしていますか」についての回答と学校の体力合計点の関連

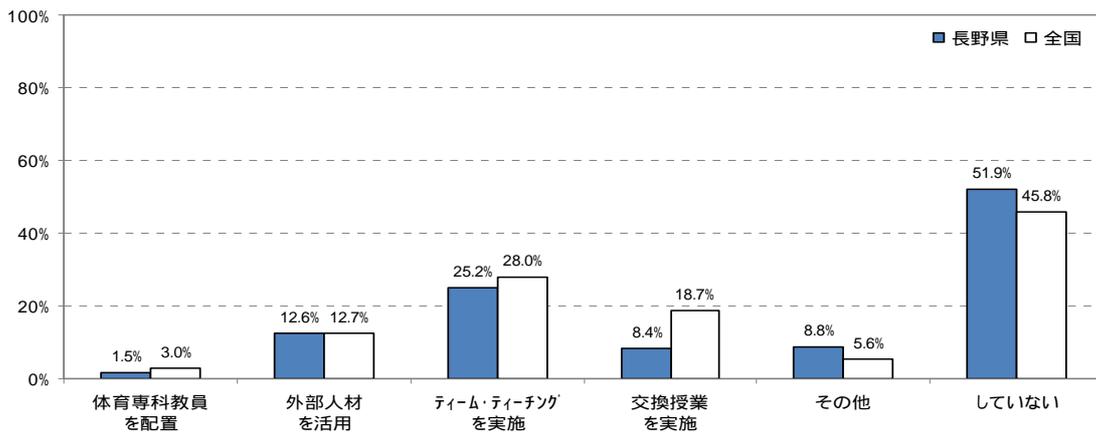
- ・ 男女とも、運動を習慣化させるための取組を「している」と回答した学校は、その他の回答をした学校よりも体力合計点が高い傾向がみられる。



## 専門性を重視した指導

〔質問 9〕 体育の専門性などを重視した指導をしていますか（複数回答可）

- ・ 体育の専門性などを重視した取組では、実施していない学校が 51.9%で最も高く、実施している取組では「チームティーチングを実施している」が 25.2%であった。
- ・ 全国と比べると、特に「交換授業を実施している」割合が低い。



## 全国体力・運動能力、運動習慣等調査を踏まえた取組

〔質問 10〕 学校において、平成 20 年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を踏まえ、どのような取組をしましたか（取り組む予定ですか）（複数回答可）

- ・ 平成 20 年度の結果を踏まえた取組では、「体育の授業改善」が 50.7%、次いで「体育の授業以外での体力向上に係る取り組み」が 49.3%で高かった。
- ・ 平成 20 年度の結果を踏まえた取組を「していない」学校は 16.4%で、全国平均よりも高い。

